



光る知性 豊かな心 強い意志

南中生

長井市立長井南中学校

令和 6年 2月 26日

校長 赤間 幸生

ゆずり葉活動 勇んで

ゆずり葉は、春に黄色味を帯びた新しい葉が出ると、前の年の古い葉が若い葉にゆずるように落葉する常緑高木。今までの人から、新しい人に全てを託し、手渡す、譲り渡すという意味から、長井南中学校ではこれまでの長い間、生徒会の新旧交代式を「ゆずり葉の会」とし、卒業式までの間の活動を「ゆずり葉活動」と銘打って取り組んできました。

ゆずり葉



ブラッシュ

アップ

「Brush up」

～ できるんだから最初から姿で魅せる南中Style ～

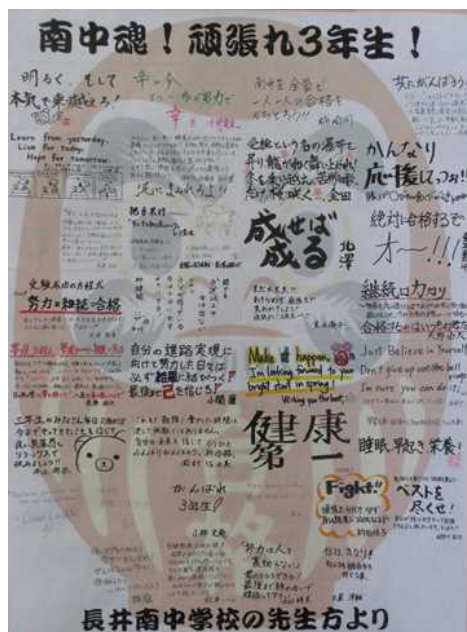
今年度のスローガンは「ブラッシュアップ」。そして「あいさつ」「時間」「歌声」が目指す姿。この3つは、今まさに、頑張らなければならない項目。その実態を厳



しく見つめて、メスを入れ、ここから南中をブラッシュアップしていこうとしていることに、頼もしさを感じます。その実証をしっかり示すことが、3年生への感謝の恩返しとなることでしょう。新生徒会役員を中心に、グレードアップした姿に期待しています。

心のぬくもりは 目に

「目は口ほどにものを言う」とはよく耳にする言葉です。この言葉をより実感するようになったのは、コロナやインフルエンザでマスクの着用が日常化し、口元を見る、見せる機会が減ったからでしょう。近年の研究によれば、面と向かった相手の感情を読み取る際、欧米の人々が相手の口元を重視するのに対して、日本人は目元を重視する傾向にあるといます。目の動きで思いを伝える意味の「目顔で知らせる」や、驚いた様子を表す「目を皿にする」など、目にまつわる慣用句が多いのもうなずけます。「目は心の窓」「目は心の鏡」とも言います。心は見えませんが、心のぬくもりは目の輝きや表情に表れるものです。



人は目だけで、どんな心の状態なのか察知できます。マスクで顔の半分を覆い隠しても、心こそ大切です。こんな時だからこそ、眼差しや言葉に一段と心を乗せて表現する生活をしていきたいものです。



栄光の記録

◇ 令和5年度 長井教育会賞

3年 伊東 美優

* 長井教育会とは

- 一生懸命に勉強したい人に「奨学金」を貸与
- 講演会を開催
- コミュセンで学習会を開くときに助成
- 学校の研究が充実するように支援

などなど、長井市に住む青少年の健全な育成を目的としている団体。

授与された生徒会長を通して、本校の生徒会活動を認めていただいたこと、大変名誉なことであり、感謝申し上げます。

